



平成 29 年 10 月 25 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ
代表者 代表取締役社長 高橋 新
(コード番号 5852)
問合せ先責任者 経営企画部長 成家 秀樹
(TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	69,800	3,300	3,000	2,100	81.25
今回発表予想 (B)	70,600	1,700	1,550	550	21.29
増減額 (B-A)	800	△1,600	△1,450	△1,550	
増減率 (%)	1.1%	△48.5%	△48.3%	△73.8%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	66,976	3,326	2,857	2,112	81.75

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	142,000	7,000	6,400	4,400	170.24
今回発表予想 (B)	144,700	4,100	3,850	2,050	79.26
増減額 (B-A)	2,700	△2,900	△2,550	△2,350	
増減率 (%)	1.9%	△41.4%	△39.8%	△53.4%	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	136,657	6,912	6,256	4,992	193.15

修正の理由

連結売上高については、ダイカスト事業の販売量がほぼ当初予想通り推移する中でアルミ地金市況の上昇もあり、当初予想を若干上回る見込みです。一方で利益面については、アジアでは受注量の増加により予想を上回る利益となるものの、国内では栃木工場での製造コスト削減が販売単価の低下に比べ遅れていること等が、北米では米国における生産性の改善に遅れが見られることが減益要因となる見込みです。またドル/ペソ為替相場の変動を受け、メキシコでは労働者利益分配金 (PTU) や税負担の増加が予想されます。この結果連結全体での利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高（百万円）			セグメント利益（百万円）		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	66,900	67,200	300	2,900	1,400	△1,500
ダイカスト事業 北米	39,900	40,450	550	2,250	300	△1,950
ダイカスト事業 アジア	28,400	29,300	900	1,500	1,900	400
アルミニウム事業	4,600	4,700	100	250	250	-
完成品事業	2,200	3,050	850	100	250	150

為替レート的前提（第2四半期以降）：110円/米ドル、16.0円/元、1.6円/インドルピー）

（前回予想：110円/米ドル、16.0円/元、1.6円/インドルピー）

以上